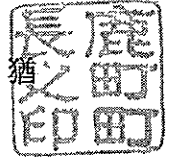




20建第421号
平成20年10月10日

国土交通省道路局長 様

鹿町町長 宮田 安猶



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

国道企第37号で依頼のあった標記の件につきまして、別紙の通り

提出しますのでよろしくお願い致します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長崎県鹿町町

- ・ 地方の道路整備が進んでこそ社会経済の発展があると考えます。地方からの物資の輸送には道路の整備は欠かせないものである地方の道路整備を進めるべきであると思います。
- ・ 地方の道路整備が推進されるよう市町村道の整備事業に係る採択条件等を見直していただきたい。
- ・ 高速交通道路と地方の幹線道路との効率的な連携を図るためにも、地方の幹線道路の整備は特に推進するべきだと思います。
- ・ 道路財源の確保無くしては、地域産業の発展は無いと思います。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

長崎県鹿町町

②ー1 地域行政の現状と抱える課題

○ 現状

本町は、本土の最西端に位置し浅海養殖や加工の水産業をはじめとする第一次産業が盛んである。

また、西海国立公園北九十九島の美しい自然と10万本のつつじに代表される長串山は、多くの観光客で賑わいを見せている。

本町には、一般県道佐世保鹿町線と主要地方道佐々鹿町江迎線の2路線が走っている。一般県道佐世保鹿町線においては、急勾配で幅員が狭く急カーブが連続しており大型運搬車や観光バスの通行ができない。

主要地方道佐々鹿町江迎線においては集中豪雨時には道路が冠水し交通不能となる事態が度々発生している。

現在、建設が進められている西九州自動車道も本町を通過しない。

○ 課題

西九州自動車道、国道204号線から本町への円滑な交通ができる交通体系の整備が急務である。

町内の主要幹線道路について

- ・ 鮮魚の運搬においては、大型車の通行が困難であるため、迂回をしなければならず、輸送コストの増加にもつながっている。また、急カーブが連続するために品質の低下をまねきかねない。
- ・ 観光面においても、大型バスの目的地までの所要時間の関係から通過をされることがある。
- ・ 豪雨時の冠水により道路が通行できない場合には、緊急車の通行もできないため、住民生活に不安を及ぼしている。

以上のように、時間短縮、物流対策、快適性等の多様なニーズに応えられる道路整備が必要である。

②ー② 地域の目指す将来像

本町は、地理、地勢等を考慮した場合、大型開発の可能性については困難な面が多く、西海国立公園北九十九島に代表される美しい自然環境や豊富な農水産物を活かした内発型の活性化対策が求められている。

そこで、今後の発展の方向策としては、第1次産業の振興、第2次、第3次産業における就業機会の拡大と所得の安定向上を地域活性化の基本としながら、それらと平行して快適な生活環境の創出、高齢化社会に対応した地域福祉の実現、並びに民間活力を活用して若者が定着するような活気のある町づくりに努める。

さらに、豊かな自然環境の保護、美しい景観の保全形成、歴史や伝統を踏まえた地域文化の創造、ならびに地域特有の資産を活かし、地域の自主性と主体性のもとに創意工夫を発揮して、広域的な取組と連携を図りながら個性豊かな地域づくりを目指す。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

長崎県鹿町町

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
・地域活力の向上	・ 主要産業である漁業は、近年の漁価の低迷や燃油の高騰により大きなダメージを受けている。 ・ 西海国立公園・北九十九島の美しい海岸線と10万本のつつじが咲き誇る長串山公園は、県外からも多くの観光客が訪れている。 しかし、高速道路、国道から目的地までの所要時間の関係で、行程に組み込むことができない場合がある。 現在、体験型旅行(修学旅行)の受け入れを行っているが、同様の状態にある。福岡市までの往復に要する時間が影響している。	・ 道路を整備することにより、輸送コストを削減することができるとともに、品質の高い品物を広範囲に輸送することが可能となり販路の拡大につなげることができる。 ・ 高速道路、幹線道路に最短のアクセス道路を整備することによって時間的な問題を解決できる。 広範囲からの集客ができ、ロコミによる特産物(真珠・とらふぐ・いりこ等)の宣伝効果等により、本町の基幹産業の発展に大きな期待を持つことができる。	